【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成26年9月4日(2014.9.4)

【公開番号】特開2013-86814(P2013-86814A)
【公開日】平成25年5月13日(2013.5.13)
【年通号数】公開・登録公報2013-023
【出願番号】特願2011-227196(P2011-227196)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　1/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　1/02　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成26年7月23日(2014.7.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対向する２つの第１側面と、前記２つの第１側面と垂直な対向する２つの第２側面とを有する胴部を含む容器であって、
前記２つの第１側面のそれぞれの縦方向中央部付近に、指先で把持される把持用凹部と、前記把持用凹部をその全周にわたって取り囲む周辺部とが配置され、前記把持用凹部は、前記周辺部よりも対向する前記第１側面の方向に向かって窪んでいて、前記把持用凹部と前記周辺部との境界よりも内側の領域が粗面化領域を有し、前記周辺部は、前記粗面化領域よりも表面粗さが小さい、
ことを特徴とする容器。
【請求項２】
前記把持用凹部は、その上部からその下部に向かって横方向幅が小さくなる形状を有する、
ことを特徴とする請求項１に記載の容器。
【請求項３】
前記把持用凹部の縦方向最大幅が２０～５０ｍｍの範囲内である、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の容器。
【請求項４】
前記把持用凹部の下側に前記胴部の全周にわたる凸部が設けられていて、前記凸部は、縦方向に波打った波形部を含み、前記波形部は、１つの前記把持用凹部について、第１谷部と、２つの山部と、２つの第２谷部とを含み、前記２つの山部は、前記第１谷部を挟むように配置され、前記第１谷部と前記２つの第２谷部との間には前記２つの山部が配置され、
前記第１谷部が前記把持用凹部の中心の直下に位置し、前記山部が前記把持用凹部に隣接して配置されている、
ことを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の容器。
【請求項５】
前記波形部は、前記第２側面に配置された山部を含む、
ことを特徴とする請求項４に記載の容器。
【請求項６】

前記把持用凹部の下側に前記胴部の全周にわたる凸部が設けられていて、前記凸部は、縦方向に波打った波形部を含み、前記波形部は、前記第２側面に配置された山部を含む、
ことを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の容器。
【請求項７】
請求項１乃至６のいずれか１項に記載の容器に液体を充填してなることを特徴とする物品。